

茅ヶ崎同盟教会・教会学校だより 2004秋の号

2004年度年間暗誦聖句（こどもさんびか77番）

神はそのひとり子をたまわったほどに、この世を愛してくださった。それはみ子をしんじるものがひとりもほろびないで、永遠(えいえん)の命をえるためである。神がみ子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、み子によって、この世がすくわれるためである。

ヨハネによる福音書3章16～17節



2004年度教会学校だより秋の号をお届けします。春から新しいクラスで毎週聖書を学んでいます。これまで、イースター、ビーチプレイデイ、カトリアホーム訪問、そして夏期学校やおたのしみ会もおこなわれました。さて秋の号は分級紹介号です。各クラスでの活動について詳しく紹介します。おたのしみ下さい。

[幼・小学1～4年分級]担当＝稲津悠紀・加藤ちぐさ・早坂美奈子

毎週ゲームあり、工作あり、森本デーのまちがいさがしありとバラエティーに富んだ分級です。1歳のわかなちゃんから幅広い年齢のお友だちがワイワイ集まっています。工作は毎週なかなかの力作！のりとはさみが毎回大活躍です。丁寧に作るのは祝ちゃん！発想豊かなすみこちゃん！いつもこったデザインのなっちゃんとのぞみちゃん！一生懸命取り組むあんりちゃん！おしゃれなまりこちゃん！そしてすぐあきらめちゃうえみちゃん。

おうきワールドも〇×いわ～!![編集注.原稿判読不能]とても楽しい時間です。ぜひみなさん来てください。イエスさまと先生がまってるヨ！（加藤ちぐさ記）

人数の少なさも老若男女の多彩な顔ぶれでカバーし、年齢を越えて、教え、学び合い、ガッハハと楽しみながら、毎週活動している現在の教会学校。頭の柔らかい先生が考える活動内容はユニーク！突拍子もない(!?)言ってしまうと“教会”というちょっとお固いイメージからはかけ離れている。廃物利用工作は主婦の知恵。そこから生み出される作品は子どもたちの芸術的センスの結晶。そして、ちゃんとまん中にイエスさまがいらっしゃるってお友だちに対してあたたかい眼差し。お互いに認め合う言葉かけが交わされる教会学校。私もこんな教会学校で育ちたかった.....おっと訂正。個性豊かな子どもたち、先生たちの中で現在、私も成長中です。（早坂美奈子 記）[編集注.老若男女:ろうにやくなんによ＝あらゆる年齢のすべての人]

〔小学 5・6 年分級〕 担当＝森本 成・安田雄子

6年生の早坂央希君は、ただ1人女の子の中にあって、流れに流されず、その個性を光らせています。存在そのものが、周りの人をなごませてくれます。敬老の日のカード作りは皆が楽しんで心をこめて作りました。このカードも、央希君は個性的なカードを作ってくれました。真面目で落ち着いたミドル.....いえボーイです。

5年生の鈴木菜摘ちゃんは、その小さな頃の愛らしさを残しつつも背が伸び、スタイルもよりチャーミングな女の子です。小さなお友だちからも好かれ、頼りにされています。小さい人たちを集めて、楽しくにぎやかに遊んでくれて、近い将来CSの教師に.....と期待しています。魅力いっぱいなのちゃんです。5年生の落合純子ちゃんは活発でいて、知的。本を読んだり、自分でお話やまんがを書いたりするのが好きです。先週、礼拝中にこっそり見せてくれました。すみちゃんの書いた「ダビデとゴリアテ」でした。オリジナルの「まんが聖書ものがたり」書き上げて欲しいです。

同じ5年生の文野亜美ちゃん、コツコツとじっくり取り組むあみちゃん。カード作りも、自分が納得できるまで努力しています。だから出来上がったものは手がこんでいて、苦心のあとがみられます。こういう人は、今の世の中、とても貴重な存在です。これからも自分のよさを活かして、すてきなものを作ってくれるでしょう。5年生の木島望ちゃんはお姉さんのあき子ちゃんが小さい頃、CSに通っていて妹が産まれたことを聞き「のぞみちゃん」という素敵なお名前がついたことを覚えています。その、のぞみちゃんが大きくなってこの夏の奥多摩夏期学校にも参加してくれました。これからもよろしくね。

以上、輝いている子どもたちを毎週共に礼拝が守れる幸せを感じている、しかしもうだいふ輝きを失ってきているイチ教師の報告でした。(エッ、昔は輝いていたの？と誰かにつっこまれそう...やっぱり天然ボケの安田雄子 記)

〔子供会=わいわいキッズ〕

毎月第3土曜日の2時から3時まで定例で行なわれています。前日(金曜日)の下校時にあわせて、教会の前をとおる子どもたちに案内のチラシを配ります。聖書のお話、讃美歌、ゲーム(工作)、おやつという流れですが、1人ひとりを見守り、ゆったりとした安心できる雰囲気をと、願い心がけています。

最近、参加してくれる子どもたちの数が減少していることが悩みです。“その子をわたしのところに連れてきなさい”と主がいわれていることを思いつつ、子どもたちを集める方法、内容、開催日などについて、3～4名の担当教師の中で祈りつつ模索しています。

(八巻智枝 記)

〔夏期学校レポート〕

本年度の夏期学校は7月24日から26日まで、おなじみの青梅線古里にある奥多摩福音の家で行われました。3日間とてもよいお天気のもと、計画されたプログラムも無事終えて、楽しい思い出をおみやげに、帰ってきました。以下に小学科、早坂先生のレポートを掲載します〔編集子〕。

さて今回の夏期学校のテーマは「キミは新しくなれる」。放蕩息子のたとえ、老いてなお生まれ変わったニコデモの話、そしてオリンピックの年にちなんで映画『炎のランナー』の中でエリックが語った「ゴールに向かう力はあなたの方の中から湧き出ます。主の愛に身をゆだねること、それがゴールへの最短距離です。」という言葉から、新しく生まれ変わった私たちは、いつでもそばにいてくださるイエス様を頼って、天国で神様から金メダルを戴けるように、この人生をイエス様に従って走り続けよう、ということ学びました。

学びの話はもちろんですが、是非皆様にご報告したいエピソードの数々を、どうかお聞きください。24日午前8時に茅ヶ崎駅に集合し、元気に出発した総勢17名(自動車隊2名、翌日参加1名)。涼しい相模線車内でほっとしたのも束の間、あっちの席で爆笑の渦、こっちの席で♪ヨン様ソングの大合唱。ご迷惑一歩手前の盛り上がりで3回の乗り換えも何のその、あっという間に奥多摩福音の家に到着しました。

1日目の夜は「ホウキおじさん」と踊ったり、「買い物ゲーム」で稲津さんが19個も品物を暗記して頭脳も若いことを見事証明したりと、頭と身体をたっぷり使うゲームでお楽しみ会のひと時を過ごしました。残念なことに日頃、八面六臂〔編集注:はちめんろっぴ=1人で腕前を發揮すること〕の大活躍をしているちぐさちゃん、疲れが出たのか夕方から具合が悪くなってしまい、ママを心配していた絵美ちゃんも翌日に発熱。3日も体調が悪く一足先に帰宅の途につきました。肝試しや遊びの計画は来年やろうね、絵美ちゃん。





2日目は楽しい行事が盛りだくさん。恒例になったTシャツ作りは構想を練ってあった子もいたようで、Tシャツをキャンバスに素敵な絵を描きました。中でも文野お父さんの作品は力作でしたよ。バーベキューは福音の家の方に教えていただいたプライベートビーチならぬプライベート滝&せせらぎで最高のランチタイムとなりました。お腹がいっぱいになると川遊びも始まり、聖書は忘れたのに釣竿と捕虫網は持ってきた黒一点の小学生央希に、アメリカから帰国中の川島悟君が全身ずぶぬれになりながら付き合ってくれました。

と、にわかには黒雲が湧き上がり大粒の雨が・・・子供たちをピストン輸送で帰らせたあと、鉄板やドラム缶の番に残った森本校長。河原から戻り彼此1時間20分、鉄板などを取りに行ってくれたはずの軽トラックが庭で水撒きをしているではありませんか!!どうも帰ってこないと思ったら、森本校長、にわか雨もすぐ上がって、強い日射しの照りつける中、一人淋しく山奥で干からびちゃっているに違いありません。そう言えば絶対迎えに来てねーと心細い声を出していたっけ・・・急いで軽トラ救出隊に出動してもらい、純子先生をはじめ美女4人でコーヒーを入れてお出迎えをした次第です。元気に生還した森もっちゃん、『もう自力下山しかないかと思ったよ』と豪快に笑っておりました。さすが太っ腹(おなかも出てるヨ)!

夕方、川島正子さんも到着。キャンプファイヤー、花火の前のショートメッセージはサイパンから帰国中のみんなの大好きなお兄さん梅ちゃんこと梅村くんから。仕事をやめ、サイパンで研修、仕事に至るまでの苦悩と祈りの証しは、あたたかい人柄と素直な信仰

の故に聞く人の心に深く染み入るものでした。梅ちゃんが語り終わると夕闇の迫る福音の家の庭に拍手が湧き起こりました。

夜の部屋別出し物は、楽しい寸劇やクイズ。純ちゃん、望ちゃん、亜美ちゃん、悠紀ちゃんの人形劇は綿密な台本と魔女の迫力で大成功。由莉ちゃん、綾乃ちゃん、菜摘ちゃんのお姉さんトリオのシンデレラは CM まで入って、準備、工夫、見応えも十分。名女優揃いの女性教師はアドリブの女王 Y・I さんの大活躍で 3 匹の子豚のおおかみも“新しく生まれ変われ”ました。

3 日目の朝は掃除から始まりました。部屋の整理整頓が一番上手だったのは一番年下グループの安里ちゃん、祝ちゃん、まりこちゃん。お部屋すっきり！閉校礼拝を終え、気持ちのよいお部屋、おいしいお食事、そしてすばらしい自然を備えてくださった神様に感謝して、奥多摩を後にしました。寝不足とはしゃぎすぎで少々疲れたけれど、ご家族や教会の皆様のお祈りのうちに守られて、とてもよい 3 日間を過ごすことができました。お互いを思いやり、自分の責任を果たせる子どもたちの姿はすばらしかったです。この夏の子どもたちの成長ぶりをご覧に、教会学校を是非のぞいてみてくださいね。

(早坂美奈子 記)

【夏のおたのしみ会レポート】

8 月 30 日(月曜日)9 時より、教会にて今年のお楽しみ会が行われた。その日は台風 17 号が北海道を通過中で、心配していた雨は降らなかったが、大変蒸し暑い日だった。「これはアイスクリーム・パーティにはもってこいじゃないか。」

9 時始まりだったが、8 時 30 分頃からお友だちが集まり始め、9 時過ぎには 15 名の子どもたちが『理科実験工作』をやりたくて、ウズウズしていた。講師は昨年引き続き加藤理志くん、絵美ちゃんのパパである加藤康彦氏である。『アメリカン・フラワー』という名前が付いていたが、針金で形を作り(○や□のように形が“閉じて”いなければならない)、この針金を“薬”にいれると、そう、まるでカラフルなべっこうあめのようなになる。これが『超〜きもちいい』し、楽しいのだ。子どもも大人も(熊谷先生ご夫婦も)夢中になってやった。『スーパーボール』作りの方もきれいな色の“消しゴム”を 2~3 分湯に入れ、取り出して団子に丸めるだけでできてしまい、これまた簡単で楽しいので、子どもたちは大喜びだった。10 時過ぎから礼拝室で聖書のお話を聞く。『あなたは高価で尊い』というテーマだったので、マックス・ルケード著の『たいせつなきみ』という絵本を読み聞かせた。読んでいるこちらが驚くほど皆、静かで真剣に聞き入っていた。『君は私(つくりぬし)にとって特別なんだよ。』

お友だち紹介が終わると、アイスクリーム・パーティだ。3 色のアイスに果物や生クリーム、チョコ、コーンフレークなど、好きな物をトッピングして、ワイワイと食べた。まさにあつ

という間の出来事だった。礼拝室に戻り、イスとりゲームをやる。

ふと見ると、子どもだけのはずが、“おばさん”も 1 人混じっている。『安田だ！』ケツアツで 2 人分の子どもを吹き飛ばしていた。しかも、ゲーム終了後に「景品をもらっていないお友だちはいるかな？」と、ちぐさが聞くと、「ハイ」と手まで挙げていた。子どもたちの「もっとやりたい！」というリクエストに応え、ステレオ・ゲームもやり、「もっと、もっと！」という声を抑えて、熊谷先生に教会学校の紹介とお祈りをさせていただき、自分たちで作った『アメリカン・フラワー』とゲームで勝ち取った賞品をもって、帰っていった。とても楽しく、外の蒸し暑さとは裏腹にさわやかな 1 日だった。(弓桁あずさ 記)

【絵本大好き!! の会】



昨年9月から教会学校主催による「絵本読み聞かせ」の会、題して「絵本大好き!!の会」が発足しました。就園前の乳児・幼児対象でお母さんと一緒に絵本をとおして親子のふれあい、また集まった母親同士の情報交換、やすらぎの時となり、教会がより近い場となるよう祈って臨みました。

第1回目は3ヶ月の乳児を中心に3歳位までの子どもと母親が14組集まり、予想をはるかに超えた数に喜びの祈りをささげ、次回の話し合いにも力が入り、ポスター、チラシ、手紙も心を込め、願いを込めて作成し、前回出席した方々が次につながるよう祈りました。いつも不思議と天候に恵まれ、この9月で1周年を迎えることができ、1年間で40組位の方々が参加してくださいました。常時13~14組の親子が集い、皆顔見知りになり、和気あいあいとした集い、くつろぎの時をもつことができるようになりました。半年過ぎた頃から、読み聞かせの最後に熊谷牧師によるショートメッセージの時間が与えられ、お母さま方が忙しい育児の中、心休まるお話に耳を傾け、祈ることが自然のうちに抵抗なく受け入れられるようになり、神様のなさる業に感謝しました。

さて子どもたちの反応は？といえば、あっちでハイハイ、こっちでヨチヨチ、向こうではオッパイと絵本どころではありませんが、お母さんが楽しく安定した場の中にいることが、子どもにとって何より喜びとなり、よき成長につながっていくものと確信しています。どうか「絵本大好き!!の会」の歩みが、これからも祝され、集われるお1人おひとりが教会学校、教会へと導かれるよう祈ってやみません。(稲津悠紀 記)

【中・高科分級】担当＝柏 真祈・弓桁あずさ



今どきの中高生はとにかく忙しい。週 5 日制になってから特にそうだ。勉強(？)・遊び・部活・習い事・パソコンやケイタイ電話を使つてのメールのやりとり等、

土・日もなく、また日が変わらぬ内に寝るなどということもない。従って、日曜の朝 9 時など、家にいないか、寝ているかのいずれである。だからたとえ遅刻しても教会に顔を見せに来てくれるだけでとてもうれしい。4 月から 1 回でも顔を出してくれたお友だちは 17 人もいる。今年度になってまだ一度も出席できないが、在籍しているお友だちは 7 人いる。皆それぞれ学校その他の場所で大活躍している噂も聞く。「教会学校の先生たちは皆、君たちのことを誇りに思っているぞ。祈っているぞ。元気でがんばれ」って。クリスマスに 1 人でも多くのお友だちが教会に来れるように祈っている。

そんな中、1 人中学 1 年生の落合佑宇君は毎月 3 回以上出席してくれる。大木彩夏ちゃんや高橋由莉ちゃんもよく来てくれる。文野量介君は部活動がないときには必ず来てくれるし、弓桁洋君は 10 時頃、「おまえ、なにしにきたの？」という感じだが、来ればおもしろいので、小学生は大喜びである。現在、小学生と一緒に礼拝を持ち、分級も一緒なので、礼拝と分級の間にジュニア科用のワークブックを使って少しの時間“勉強”し（でも、“勉強”も小学生と一緒にすることが多いが）、その後 CS 全体でゲームをしたり、工作をしたりしている。これが超おもしろい。小学生もお兄さんお姉さんと一緒の方が、ずっと楽しそう。『CS 全体での活動』今年度の、いやこれか CS の活動のあり方になると思う。教師全体が 1 人ひとり子どもたちに目を配りながら、一緒になって活動していく。毎週の礼拝・分級も、夏期学校も、クリスマス祝会も、すべてそう。集会室の壁に貼ってある『ぶどうのふさ』がすべてを物語ってくれていると思う。（弓桁あずさ 記）

〔成人科分級〕 担当＝飯田純子・大木怜子・古川盛弘

今年も神様によって今日まで学びの時をもつことができました。新しい方も加えられ、讚美とみことばの学びをすることができ、とてもよい交わり場となっています。1 人でも多くの方が、成人科クラスに来ていただきたく、楽しい交わりとやさしいみことばの学びの時をもてること請け合いです。（飯田純子 記）

成人科の分級は、平均 4.5 人の方が集まり私たち 3 人と併せて 7・8 人で、母子室に集まり、和気あいあいと学んでいます。始めに、落合さんが讚美歌について、奥深い歴史や、作曲者、作詞家などについて調べてくださったことなどを学びます。無学な私などは新しい発見の連続でとても楽しみな時間です。次に、昨年から学んでいるテキストを使い、みんなで声を合わせて聖書を読みながら学びを進めています。テキストも 3 冊目に入り、内容もぐっと深く内容の濃い物となりました。

9 月に入りずっと聖霊について学んでいます。とても難しい所ですが聖書をとおして、少しずつ読み進んでいます。その後、今日学んだところについての質問、感想、更には近況報告、楽しい交わりのおしゃべり…などしていると、ああ大変、礼拝の時間だ！まだまだ話し足りないけれど、また来週。という具合にいつもいつも時間が足りなく別れが



が一語一語そのまま、歌いつづけられているのを知った。」ロングフェロー作“矢と歌”より……

4年生の加糖絵美ちゃんが1人きりなのに毎週、讚美するために朝早く来てくれて、1人で何人分かの声を出してくれる日もありました。うれしいことに3年生の早坂祝ちゃんが加わってくださり、この夏からは5年生の木島望ちゃんも来てくれています(うれし〜っ、超うれし〜っ、どこかで聞いたネ)。指導して下さるのは森本校長(早起きモリモッチ)です。4冊目(黒い表紙)のCS聖歌隊ライブラリーには、森本校長によって、なんと2006年1月までの曲が用意されています。その一曲一曲が、神さまに喜んで頂けるように大切に心から讚美したいと思います。そして、この詩のように、聞いた人の心に届き、歌いつづけられたならば、こんなに幸せなことはありません。まだまだメンバー募集中です。(安田雄子 記)

【教会学校のこれからの予定】

★11月21日収穫感謝の日朝食会 午前8時より

収穫感謝の日にはみんなで朝8時に教会に集まって朝食会を行います。お友だちやお父さん、お母さんと一緒に参加してください。今年のメニューはなんだろうね？ターキーはでないけれど、楽しみにしてください。



★12月19日クリスマス祝会

礼拝の後、お昼からみんなでランチを食べます。そしてイエスさまの降誕劇やさんびかを歌います。今年はどんな出し物がでるでしょうか。ビンゴ大会やみんなが持ち寄ったプレゼント交換などがあります。お友だちやご家族のみなさんと一緒に参加しましょう。



★12月24日クリスマスキャロリング・キャンドルサービス

夜6時半よりキャロリングがあります。みんなロウソクをもってさんびかを歌って教会の近くの家々を巡ります。9時から教会でキャンドルサービスがあります。是非お父さんお母さんと一緒にご参加ください。

●編集後記 (Sept.23, 2004)

楽しかった夏休みも終り、新学期となりました。教会学校も秋からのプログラムがはじまりました。CSだより秋の号は分級の紹介に加え、夏期学校と夏のおたのしみ会のレポート、さらには子ども会や絵本の会の近況レポートも掲載しました。お楽しみ



会や絵本の会など多数の写真掲載を考えておりましたが、あいにくデジタル素材が入手できず断念しました。また教会ホームページへの再掲載も計画されています。
おたのしみに(森本)